

救護第27班 5月17日～5月25日 管理要員・黒木 豊



27班は、牡鹿半島の熊本担当エリアの避難所10数箇所を全部回りました。満潮時に孤立する避難所も、巡回の時間が満潮とは重ならず、3日くらいでスムーズに回り終えました。第1班と27班の2回参加しましたが、27班の時には現地のほとんどの人が普通の生活を始めておられる時期でした。半島へ行くには2本の橋があって、うち1本が改修工事をしていたため、通勤時間帯には渋滞しました。

前の班がドライブインのご夫婦と顔なじみになり、小学校の運動会に参加を勧められていたので、それを受けて私たちが参加。運動会の種目のうち綱引きと玉入れ、障害物リレーに、地域の人たちやボランティアと一緒に出場しました。中学生も参加するなど、地域ぐるみの運動会でした。

家がない状態は改善されていなかったけれど、地元の人たちに笑顔が出て、元気になっていました。震災で受けた心の傷はあるでしょうが、普通の生活に戻っているな、人間って強いなと感じました。1班で行ったときは、座り込んでうつむいて、言葉も出ない様子でしたから。

私たちは牡鹿半島の広い地域をカバーしていたので移動に時間を取られ、10分くらい話をして移動することの繰り返しでした。車内でしかも走行中が多かったので、地震は感じませんでした。

